

ARCHITECTURE  
DESIGN  
CONCOURS  
2000

ARCHITECTURE DESIGN  
CONCOURS 2000

平成14年度

# 高校生建築デザインコンクール

課題／道営住宅の集会所

ARCHITECTURE DESIGN  
CONCOURS 2000

ARCHITECTURE  
DESIGN  
CONCOURS  
2000

主催

北海道

(社)日本建築家協会北海道支部

(社)北海道建築士事務所協会

(社)北海道建築士会



# ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2002

## はじめに

公共建築物には、安全快適性や機能性を満足させることはもとより、社会の多様なニーズに対応するコミュニティの交流拠点として、地域住民に広く親しまれ、地域のシンボルとしての役割を担うことが求められています。

道では、こうした道民に親しまれる公共建築物の整備を進める一環として、平成8年度から高校生建築デザインコンクールを実施し、道内の工業高校生を対象にユニークなアイデアを募集し、その提案を実際の建築設計に取り入れて参りました。

平成12年度からは、コンクールをより幅広い立場から実施することで、一層充実したものとすため、(社)日本建築家協会北海道支部、(社)北海道建築士事務所協会、(社)北海道建築士会との共催事業としております。

建築を志す高校生の皆さんがコンクールに参加することで、公共建築物について考え、そして学んだ経験は、今後建築技術者として第一線で活躍していく上で貴重な財産になるものと期待しております。

道といたしましては、選ばれた最優秀作品賞のアイデアを十勝管内音更町に建設予定の「道営住宅の集会所」に取り入れて、道民に親しまれる公共建築物づくりに活かしてまいります。

終わりに、コンクールの実施にあたり、各高等学校をはじめ、関係機関の皆様にはご協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、ご応募いただいた生徒の皆さんの今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

平成14年12月

北海道建設部長

菅原 久広

M E S S A G E

## 高校生建築デザインコンクールの概要

より道民に愛され親しまれる公共建築物づくりを進めていくため、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

このコンクールは、次世代を担う建築技術者となる道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、北海道において、実施設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

### ●課題／「道営住宅の集会所」

周辺環境と調和し、子供からお年寄りまで親しみやすく、居住者も近隣住民もともに集えるコミュニティ活性化の核となるのにふさわしい道営住宅をデザインしてください。

### ●応募資格／道内工業高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ

### ●提出図面／JIS規格A2判（420×594mm）1枚片面に下記の全ての図面を描く。

- ①設計主旨 ②配置図 ③平面図：1/50 ④断面図：1/50 ⑤立面図：縮尺1/50
- ⑥スケッチ ⑦建築概要

### ●応募総数／30作品

### ●入選作品／最優秀作品 1点 ・優秀作品 3点 ・佳作 3点

●審査経過／募集要項送付	平成14年7月16日
作品受付	平成14年9月17日～9月30日
選定委員会	平成14年11月5日
作品展	平成15年1月14日～17日

- 選定委員／本間俊男 北海道建設部建築整備室計画管理課参事
- 中岡正憲 北海道建設部建築指導課長
- 池田尚志 北海道教育庁生涯学習部高校教育課産業教育指導班指導主事
- 福田聖治 北海道建設部住宅課長
- 吉田 宏 (社)日本建築家協会北海道支部副支部長
- 松本 侃 (社)北海道建築士事務所協会副会長
- 木村 忠 (社)北海道建築士会まちづくり委員会副委員長



## 審査のポイント

- 高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
- 設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
- 立地条件を生かしているか。
- 実施設計に反映させ得るデザインであるか。



このコンクールは、工業高等学校に在籍する建築を志す生徒の皆さんからアイデアを募集し、最優秀作品の趣旨を実際の設計に活かして、道民から愛され親しまれる公共建築物づくりを進めるためのもので、今年で7回目となっております。

今回は、音更町に建築予定の「道営住宅の集会所」を課題として、「周辺環境と調和し、子供からお年寄りまで親しみやすく、居住者も近隣住民もともに集えるコミュニティ活性化の核となるのにふさわしい道営住宅の集会所」のデザインを求めたところ、多くの作品が応募されました。

この「集会所」は、道営住宅入居者の集いの場であるとともに、周辺住民との交流の場として利用される交流ゾーンの一環として位置付けられる施設であることから、配慮すべき事柄も多く難しい課題であったと思いますが、応募された作品は、それぞれによく工夫されており、たいへん感心しました。

- 審査にあたっては、
- ◎高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか。
  - ◎設計のコンセプトやデザインに魅力があるか。
  - ◎立地条件を生かしているか。
  - ◎実施設計に反映させ得るデザインであるか。

をポイントに審査を重ねた結果、最優秀作品1点、優秀作品3点、佳作3点を選定いたしました。最優秀作品賞に選ばれた稲田理沙さんは、函館工業高等学校建築科の3年生で、昨年の佳作受賞に続き、2年連続栄えある受賞をされました。本当におめでとうございます。

稲田さんの作品は、雄大な十勝の自然を敷地全体でうまく表現したデザインや環境に配慮したコンセプトで設計されており、十勝の風土に調和した、新しい環境共生型住宅団地の集会所にふさわしいデザインとして、最も高い評価を得て選定されました。

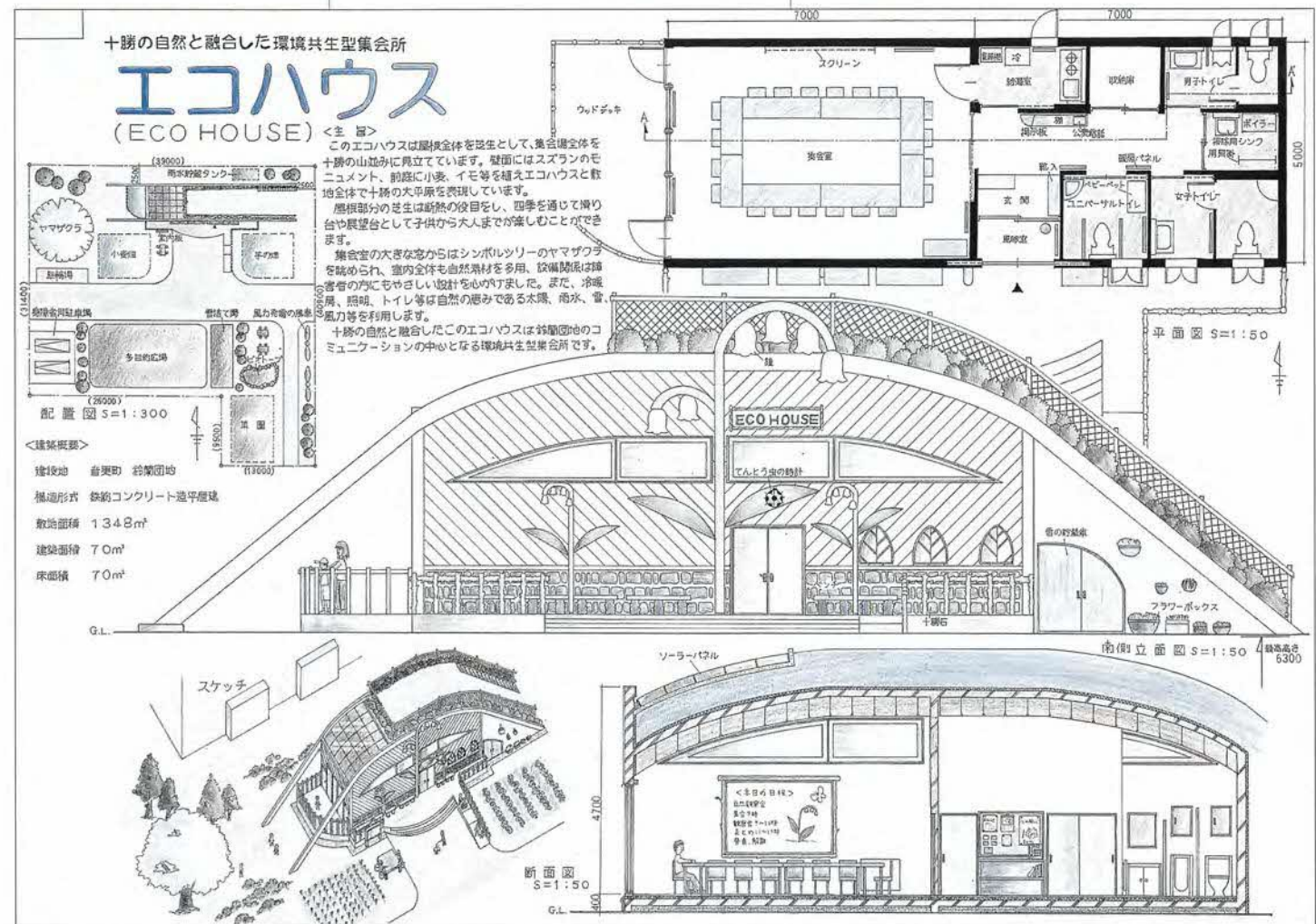
優秀作品賞の狭田恭平君の作品はシンボルツリーのエゾヤマザクラを音更町の花であるスズランの花冠に見立て、玄関中央から伸びた葎が広場を取り囲むように配置されており、敷地全体をとらえたデザインや実現性の点からも高い評価を得ました。

佐々木麻美さんは、狭田君と同様に、スズランをモチーフに集会所をデザインしており、造形の美しさに加えて、環境やバリアフリーに配慮した設計が評価されました。

さらに、グループで優秀作品賞に選ばれた谷内春一君と及川翔太君は、応募者の中で、唯一2年生ですが、現地を的確に踏まえた真摯な取り組みや音更町の町章をイメージし、多くの人々の利用を意識した点が高い評価を得ました。

このほか、佳作に選ばれた3作品も力作ぞろいであり、また惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい新鮮なアイデアに溢れる提案が数多くありました。皆さんの今後のご活躍を期待します。

最優秀作品賞



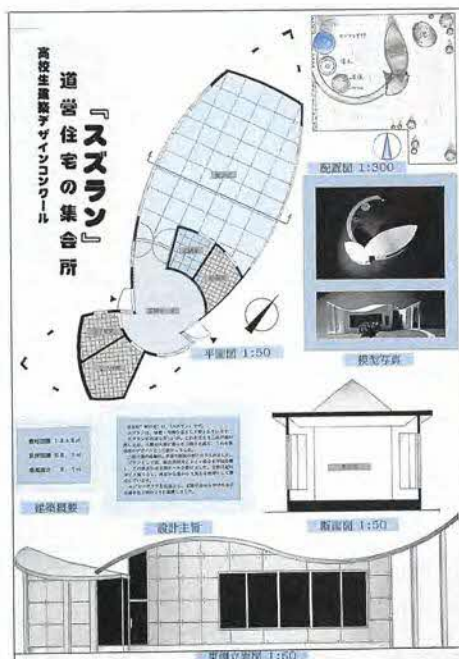
函館工業高等学校(3年)  
**稲田 理沙**

**設計主旨**  
 このエコハウスは屋根全体を芝生として、集会場全体を十勝の山並みに見立てています。壁面にはスズランのモニュメント、前庭に小麦、イモ等を植え、エコハウスと敷地全体で十勝の大平原を表現しています。  
 屋根部分の芝生は断熱の役目をし、四季を通じて滑り台や展望台として、子供から大人までが楽しむことができます。  
 集会室の大きな窓からはシンボルツリーのヤマザクラを眺められ、室内全体も自然素材を多用し、設備関係は障害者の方にもやさしい設計を心がけました。また、冷暖房、照明、トイレ等は自然の恵みである太陽、雨水、雪、風力等を利用します。  
 十勝の自然と融合したこのエコハウスは、鈴蘭団地のコミュニケーションの中心となる環境共生型集会所です。



入賞作品

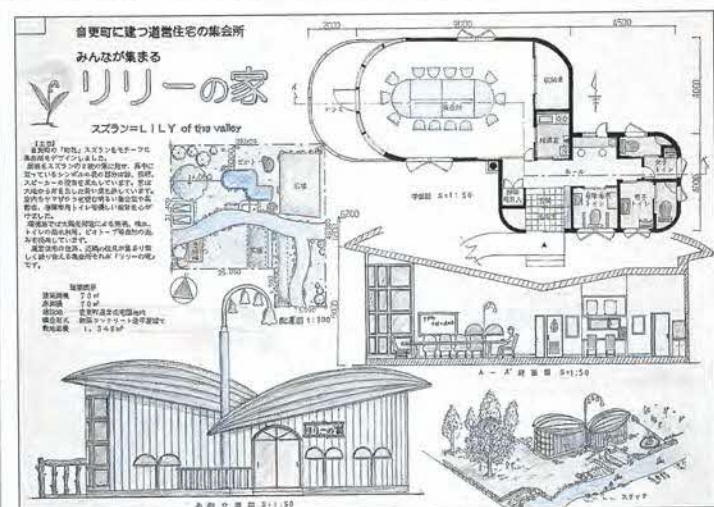
優秀作品賞



札幌工業高等学校(3年)  
狭田 恭平

設計主旨

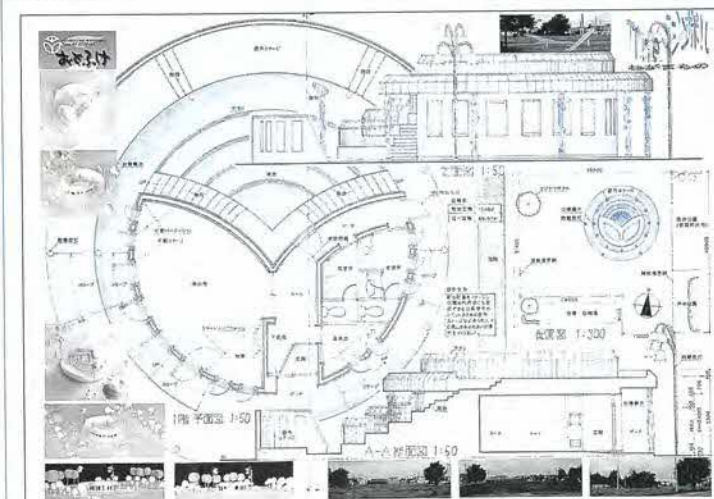
音更町「町の花」は、「スズラン」です。スズランは、清楚・可憐な花として愛されています。スズランの花冠も美しいが、これを支える二枚の葉の美しさは、十勝の大地に蒔った力強さを感じ、これを集会所のデザインとして設計しました。二枚の葉の曲線は、平面や屋根の形に取り入れました。プランとしては、集会室部分とトイレ部分を平面分離し、この交点には玄関ホールを設けました。玄関付近はガラス張りとし、両方から透かして見える空間として構成しています。エゾヤマザクラを花冠とし、玄関中央から伸びた葺が広場を取り囲むように配置しました。



函館工業高等学校(3年)  
佐々木 麻美

設計主旨

音更町の「町花」スズランをモチーフに集会所をデザインしました。屋根をスズランの2枚の葉に見せ、真中に立っているシンボルの花の部分は鈴、照明、スピーカーの役目を果たしています。窓は大地から芽を出した若い葉を表しています。室内もヤマザクラを望む明るい集会室や高齢者、身障者用トイレ等、優しい設計を心がけました。環境面では太陽光発電による照明、噴水、トイレの雨水利用、ピオトープ等、自然の恵みを採用しています。道営住宅の住民、近隣の住民が集まり楽しく語り合える集会所、それが「リリーの家」です。

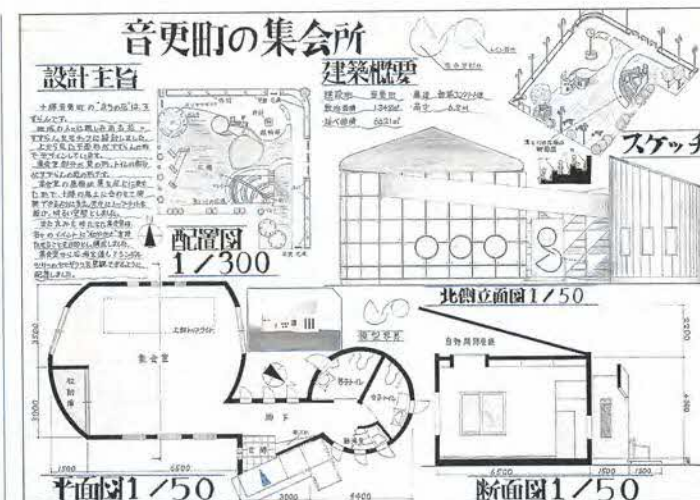


美唄工業高等学校(2年)  
谷内 春一・及川 翔太

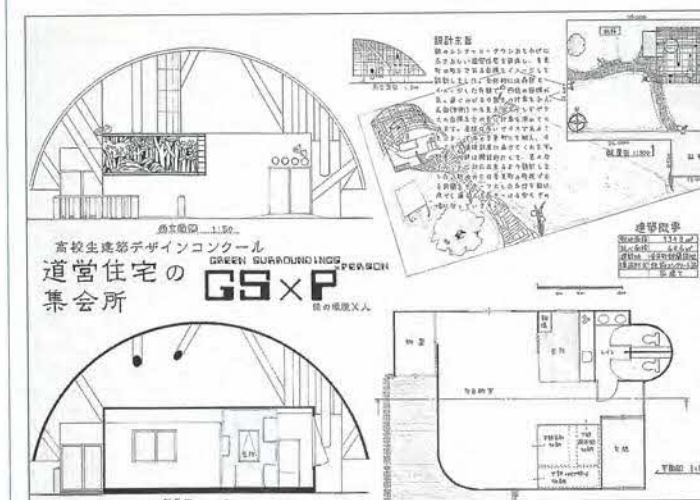
設計主旨

町の町草をイメージし、公園の利用者にも使用できる公衆便所やイベントのための屋外ステージなど多くの人々に楽しめるふれあいの場所をつくりました。

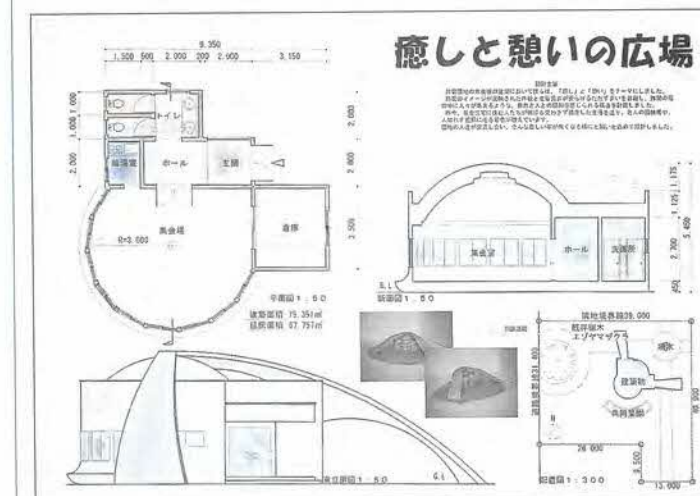
佳作



札幌工業高等学校(3年)  
岡田 拓也



名寄光陵高等学校(3年)  
夏坂 彩



北見工業高等学校(3年)  
遠藤 雅明・吉田 岳史・古谷 昌太

設計主旨

十勝音更町の「まちの花」はすすらんです。地域の人々に親しみのある花=すすらんをモチーフに設計しました。上から見た平面形がすすらんの形でデザインしています。集会室部分が葉の形、トイレの部分がすすらんの花の形です。集会室の屋根は葉を屋上に乗せた形で、十勝の風土に合わせて開閉できるように考え、天井にトップライトを設け、明るい空間としました。また、丸みを持たせた集会室は、各々のイベントに「和やかさ」を持たせることを目的とし、構成しました。集会室から広場を通して、シンボルツリーのヤマザクラを景観できるように配置しました。

設計主旨

緑のシンフォニータウンおとふけにふさわしい道営住宅を目指し、音更町の町木である白樺をイメージして設計しました。全体的には森林をイメージした外観で、円柱の白樺が真っ直ぐのびる力強さの印象を与え、正面(東側)から見えるスタンドガラスの白樺並木が更に印象を深めてくれます。屋根は厚いガラスであることよって冬の音更町にも耐え、そして光を直接部屋に届けてくれます。部屋の内部は機能的にして、色々なイベントに対応出来るよう設計しました。敷地内には音更町の町花である鈴蘭をモチーフにした外灯を設け、夜でも通る人を惹きつける安らぎの場となっています。

設計主旨

鈴蘭団地の集会所の建築において、僕は「癒し」と「憩い」をテーマにしました。鈴蘭のイメージが反映された外観と老若男女が安らげるたずまいを目指し、鈴蘭の花の中に人々が集まるような、自然と人との調和を感じられる構造を計画しました。昨今、集合住宅に住む人たちが挨拶も交わさず孤立した生活を送り、老人の孤独死や人知れず犯罪に走る若者が増えています。団地の人達が交流し合い、そんな悲しい事が無くなる様に願いを込めて設計しました。



## 平成14年度高校生建築デザインコンクール応募者一覧

### 札幌工業高等学校 (3作品3名)

岡田拓也(3年)【佳作】  
 狹田恭平(3年)【優秀作品賞】  
 保原剛枝(3年)

### 函館工業高等学校 (2作品2名)

稲田理沙(3年)【最優秀作品賞】  
 佐々木麻美(3年)【優秀作品賞】

### 小樽工業高等学校 (1作品1名)

瀬川敦子(3年)

### 美唄工業高等学校 (1作品2名)

谷内春一(2年)(2名グループ)【優秀作品賞】  
 及川翔太(2年) //

### 名寄光凌高等学校 (14作品14名)

浅川素子(3年)  
 夏坂 彩(3年)【佳作】  
 柚原啓輔(3年)  
 宮崎香織(3年)  
 阿部智美(3年)  
 三浦園美(3年)  
 橋場優企(3年)  
 阿部 力(3年)  
 石川博之(3年)  
 西川靖雄(3年)  
 平間勇作(3年)  
 浜本宣幸(3年)  
 土屋幸介(3年)  
 仲澤 優(3年)

### 室蘭工業高等学校 (1作品1名)

高橋達朗(3年)

### 北見工業高等学校 (3作品6名)

鷹取洋平(3年)(2名グループ)  
 弦巻 亭(3年) //  
 遠藤雅明(3年)(3名グループ)【佳作】  
 吉田岳史(3年) //  
 古谷昌太(3年) //  
 高橋正喜(3年)

### 帯広工業高等学校 (5作品6名)

水口智也(3年)  
 鈴木 妙(3年)(2名グループ)  
 山下修平(3年) //  
 鳥越彩希衣(3年)  
 郷明日香(3年)  
 小林耕文(3年)

計—30作品(35名)

### ● 高校別応募作品数一覧

高校名	H14応募作品数
札幌工業高等学校	3
函館工業高等学校	2
小樽工業高等学校	1
美唄工業高等学校	1
名寄光凌高等学校	14
室蘭工業高等学校	1
北見工業高等学校	3
帯広工業高等学校	5

# ARCHITECTURE DESIGN CONCOURS 2002

## 高校生建築デザインコンクール

---

発行／北海道建設部建築整備室計画管理課  
札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL.011-231-4111 内線29-864

---

印刷／興国印刷株式会社 平成14年12月発行

---